

気象警報は市町村単位で放送

2010年9月1日

ABC TVは「おはようコールABC」「おはよう朝日です」「おはよう朝日 土曜日です」「NEWSゆう+」など気象予報士が出演する番組で、気象警報を9月1日（水）から市町村単位で放送します（但し、地域内の全ての市町村に警報が出ている場合は、地域単位の表示となります）。

気象庁は5月27日から気象警報を市町村単位での発表に切り替えましたが、ABCとしては「市町村単位」では情報量が多くなり、全てを伝えるのに時間がかかるため、かえって視聴者サービスにならないとして従来通り地域単位（注1）で放送していました。

しかしながら7月14日の通学時間帯に発令されていた気象警報を巡って、学校関係者の方から「学校を休校とする際に地域単位ではなく市町村単位で警報が出ているかで児童・生徒に判断してもらっているのに、地域単位での放送では混乱する」との声が寄せられました。このため社内で検討し、新学期のスタートに合わせてシステムの改修を行いました。

気象警報の発令及び解除時の速報スーパーは従来通りの地域単位となりますのでご注意ください。地上デジタル放送のデータ放送では既に市町村単位での発表を掲載しています。

ABCは今後も視聴者の皆様の声を大切にして番組制作・報道に努めますので、よろしくお願ひ申し上げます。

（注1）

地域単位（例えば神戸市・芦屋市・尼崎市・伊丹市・宝塚市・川西市・西宮市・三田市・猪名川町は「阪神」）